



参加無料
×
申込不要

大学共同利用機関シンポジウム2023

現代の社会問題に挑む



研究者トーク〈午前の部〉

私をつくる世界とは？

- 1 極域の海洋環境・プランクトン・水産生物の変化
- 2 バイオロギングが明らかにする海洋動物の生態、生理、進化
- 3 概日時計のこれまでとこれから
- 4 運動同調と社会形成
- 5 翻訳研究から「あいだ」への想像力を育む



■ パネルディスカッション

研究者トーク〈午後の部〉

新たな“資源”、どう使う？

- 1 作物野生遺伝資源の食糧資源化
- 2 窒素利用の便益と窒素汚染の脅威というジレンマ
- 3 量子ビームでみる水素
- 4 超伝導空洞の技術革新が導く加速器技術の社会応用
- 5 安全・安心な水素社会実現に貢献する能代ロケット実験場の水素試験技術

■ パネルディスカッション

2023.10.22.



10:30

16:40

参加無料・申込不要

※日本科学未来館の常設展・ドームシアターに入場される場合は別途料金が必要です。

日本科学未来館

7階 未来館ホール（東京都江東区青海2-3-6）



会場アクセス

ニコニコ生放送

（📺）オンライン同時配信



視聴はこちら

<https://www2.ninjal.ac.jp/intersympo2023/>

人間文化研究機構 国立歴史民俗博物館／国文学研究資料館／国立国語研究所／国際日本文化研究センター／総合地球環境学研究所／国立民族学博物館 自然科学研究機構 国立天文台
核融合科学研究所／基礎生物学研究所／生理学研究所／分子科学研究所 高エネルギー加速器研究機構 素粒子原子核研究所／物質構造科学研究所／加速器研究施設
共通基盤研究施設 情報・システム研究機構 国立極地研究所／国立情報学研究所／統計数理研究所／国立遺伝学研究所 宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所 総合研究大学院大学

主催：大学共同利用機関協議会／一般社団法人大学共同利用研究教育アライアンス 後援：文部科学省

お問い合わせ

大学共同利用機関協議会 広報ワーキンググループ事務局
(国立国語研究所)

〒190-8561 東京都立川市緑町10-2
E-Mail iuris2023pj@ninjal.ac.jp
<https://www2.ninjal.ac.jp/intersympo2023/>



大学共同利用機関シンポジウム2023について



大学等の共同研究・共同利用を支える大学共同利用機関が一堂に会し、大型研究施設や設備、基盤等を活用した最先端の研究を紹介する「大学共同利用機関シンポジウム2023」を開催します。

近年「SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)」が大きな注目を浴びていることから分かるように、現代社会には数多くの解決すべき課題があります。今回のシンポジウムでは、最先端の研究成果を紹介しながら、それらの課題に対して、日本の科学・学術研究がどのような役割を果たせるのかを検討します。

10:30	10:40	13:10	14:05	16:35	16:40
開会	研究者トーク (午前の部)	休憩	研究者トーク (午後の部)	閉会	

研究者トーク〈午前の部〉

10:40-13:10

私をつくる世界とは？

気温や光、生態系、そして他者の動きやことば。
人間や生物に影響をおよぼす“世界”をひもといてみよう。



1 10:45-11:05

極域の海洋環境・プランクトン・水産生物の変化

平譚 享 国立極地研究所 教授



2 11:05-11:25

バイオリギングが明らかにする海洋動物の生態、生理、進化

渡辺 佑基 総合研究大学院大学 教授



3 11:25-11:45

概日時計のこれまでとこれから

秋山 修志 分子科学研究所 教授



4 11:45-12:05

運動同調と社会形成

戸松 彩花 生理学研究所 特任准教授



5 12:05-12:25

翻訳研究から「あいだ」への想像力を育む

片岡 真伊 国際日本文化研究センター 准教授



12:30-13:10

パネルディスカッション

ファシリテーター：飯田 綱規
名古屋大学 サイエンスコミュニケーター

研究者トーク〈午後の部〉

14:05-16:35

新たな“資源”、どう使う？

原子・分子から遺伝子、研究施設まで。資源の可能性とリスクはなにか。
そしてうまく付き合うには。



1 14:10-14:30

作物野生遺伝資源の食糧資源化

佐藤 豊 国立遺伝学研究所 教授



2 14:30-14:50

窒素利用の便益と窒素汚染の脅威というジレンマ

林 健太郎 総合地球環境学研究所 教授



3 14:50-15:10

量子ビームでみる水素

大友 季哉 物質構造科学研究所 教授



4 15:10-15:30

超伝導空洞の技術革新が導く加速器技術の社会応用

本田 洋介 加速器研究施設 准教授



5 15:30-15:50

安全・安心な水素社会実現に貢献する能代ロケット実験場の水素試験技術

小林 弘明 宇宙科学研究所 教授

15:55-16:35

パネルディスカッション

ファシリテーター：飯田 綱規

会場参加

会場に直接お越しください。いつでも入退場できます。

※新型コロナウイルス感染症の感染状況によってはオンライン開催のみとなる場合があります。
※参加者数がホール定員(244席)を超えた場合は着席できない場合があります。

会場アクセス

日本科学未来館 7階 未来館ホール(東京都江東区青海2-3-6)

- 新交通ゆりかもめ「東京国際クルーズターミナル駅」下車・徒歩約5分
- 新交通ゆりかもめ「テレコムセンター駅」下車・徒歩約4分
- 東京臨海高速鉄道りんかい線「東京テレポート駅」下車・徒歩約15分

オンライン参加

ニコニコ生放送で研究者トークをオンライン同時配信予定です。
どなたでもご覧になれます。



視聴はこちら

